

NEWS 連合千葉

台風 15・19 号ならびに豪雨災害 におけるボランティア活動の記録 《第 5 号》

日本労働組合総連合会
千葉県連合会（連合千葉）

〒260-0013

千葉市中央区中央 4-13-10

千葉県教育会館 新館 6 階

発行人：永富博之

編集人：小山良成

記事提供：川田和広

発行日：2019 年 11 月 11 日

～ボランティア ニュース～

10 月 25 日（金）の記録的な大雨により、千葉県内ではわずか半日で 1 か月分の雨が降り、19 の川で越水し、土砂災害も相次ぎました。千葉県内だけでも 11 名の死亡（10 月 31 日現在）が確認され、床上浸水した家屋は 1,000 棟を超えました。連合千葉は、千葉県災害ボランティアセンター連絡会と連携しながら、被害の大きかった茂原市・長柄町の支援に取り組みました。

11 月 2 日（土）＜茂原市＞

豪雨発生から一週間が経ち、まずは現地の状況を把握するために、連合千葉の専従者有志が、現地調査として、茂原市と長柄町へ入りました。

そこでは、たくさんのボランティアの姿に、人の暖かさを感じることができました。一方、街中に山積みされた廃棄物や川岸に散乱したゴミを見て、あの豪雨の前には、そこには平穏な毎日があったことを思い、自然災害の恐ろしさを改めて考えさせられました。

連合千葉としては、今回の現地調査の結果、長柄町の土砂崩れによる被害が甚大であると判断し、11/9（土）に産別の協力も得て、ボランティア活動へ入ることを決めました。



街中に山積みされている廃棄物



流されてきたゴミが散乱していました



茂原市のボランティアセンターに集まった皆さん

11/2(土) & 11/9(土) 活動の記録

11月9日(土) <長柄町>

長柄町ボランティアセンターに構成組織参加者12名と連合千葉事務局4名の総勢16名で駆け付けボランティアとして入りました。

多数での参加であったこともあり、依頼された内容も大掛かりな支援でした。

現地へ行くと、裏山が崩れ、土砂で家屋の一部が破壊していました。この場所は、乗馬クラブで、併設されている牧場まで、土砂が押し寄せていました。



裏山が崩れ土砂が…。

依頼主によると、土砂に混じっている木の破片や竹片が馬の脚に刺さると馬の怪我はもちろんのこと、馬が驚き乗馬中の落馬につながるのので、撤去しなければ再建できないとのこと。さらに、自由に走ることが出来ず、馬もストレスを抱え、病気になると困っていました。

支援作業は約4時間、大人5人で運べない大きさの木の根や、折り重なって埋まっている長さ3mを超える竹等の除去でした。正直、スコップでの掘り起こし作業は、かなりの重労働でした。残念ながら完結とはなりませんでしたが、2トントラックで2台分の廃棄物を取り除くことができました。



今回から連合千葉のビブスとキャップを着用



作業の様子



ご協力、ありがとうございました!!

【千教組・情報労連・電機連合の皆さんと連合千葉専従者】

<上段> 向かって左から、川田副事務局長、宮村健一さん(千教組)、加瀬 豊さん(情報労連)、

石井直幸さん(電機連合)、中島副事務局長、高柳副事務局長

<中段> 松岡賢太さん(千教組)、

櫻井伸行さん(千教組)、山岸智久さん(電機連合)、野田泰造さん(電機連合)

<下段> 永富事務局長、椎野正直さん(情報労連)、中澤淳恭さん(情報労連)、松本祐滋さん(千教組)、

中村 悠さん(電機連合)、吉野小百合さん(電機連合)